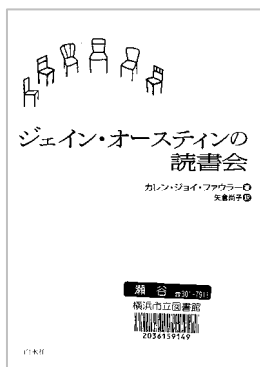




「読書会」で、本の世界をひろげよう

心に響く本と出会ったとき、同じ本を家族や知り合いにも読んでもらいたい、感想を語り合いたい、と感じたことはありませんか？ 本について語りあうことは、読書の楽しみ、味わいをより深め、読書の幅も広がります。



「ジェイン・オースティンの読書会」(カレン・ジョイ・ファウラー / 著 白水社 2006)が出版、映画化もされ話題になりました。ストーリーは読んでのお楽しみとして、この本のあとがきにも、アメリカで盛んな読書会について紹介されています。メンバーが同じ本を読んで定期的に集まり、コーヒーや軽食などを楽しみながらディスカッションすることが多いようです。

日本でも、読書会は楽しまれています。横浜市内の読書会のひとつ、「菊名親子読書会」を訪ねました。

「菊名親子読書会」は1970年代に子どもの本、大人の本を読みあう会として、親子で集まった読書会です。その後30年以上に渡り会は続き、新しいメンバーも加わって、今では月1回大人の本を読む会となっています。

まずはお茶が用意され、なごやかに会が始まりました。今回の本2冊を選んだ「お当番」の方が、本の著者の紹介や、選んだ理由などからお話を始めます。

その後、本の全体的なことや、一部分をとりあげての感想など、メンバーが自由に発言していきます。自分が見聞きしたことや経験したこと、身近な話題から社会的な問題まで、本をきっかけに話題がひろがっていくのがとても素敵でした。「自分では選ばないような、いろいろな本を読み、メンバーの意見も聞けるので、本の世界や自分の世界が広がります」

「育児のこと、家族のことなど、お互い相談や情報交換でき



この日は「僕の叔父さん網野善彦」他1冊を取り上げました。

るのも、会の魅力です」「新しいメンバーも大歓迎です。若い方が参加してくれるとうれしいです」「忙しくて読む時間がなかったときでも、参加してお話を聞き、後で読もうと思います」など、みなさん充実したひとときを過ごされている様子でした。

誰でも気軽に始められる「読書会」、ぜひ始めてみてはいかがでしょうか？



図書館も「読書会」をサポート！

横浜市立図書館では、「読書会貸出」を行っています。横浜市内で活動する5人以上のグループなら、本を30冊まで、1か月間借りることができます。詳しくは各市立図書館へお問い合わせください。